

第1回臨時会

玉村中学校の全面改築に伴う工事請負関係議案を可決

平成19年7月17日に第1回臨時会が開かれました。

老朽化した玉村中学校の全面改築工事が、平成19年度から約3カ年かけて行われます。これに伴う工事請負契約締結に関する議案3件と、文化センターの機械設備補修工事を行うための補正予算など、全5議案を原案のとおり可決しました。

『玉中改築』関連議案の審議結果

工事請負契約の締結について（3議案）

●建築工事

田中建設株式会社(伊勢崎市連取町)

可決(賛成多数)

●電気設備工事

マルフク電気株式会社(伊勢崎市宮子町)

可決(全会一致)

●機械設備工事

五常工業株式会社(玉村町大字樋越)

可決(全会一致)

質疑

条件付き入札にした理由を問う。

競争性と透明性を深めるために一般競争入札を採用した。しかし、

大手ゼネコンなど、日本全国の業者がすべて参加できるシステムであるため、一応条件をつけた。また、ダンプینگや不適格業者を排除するためもある。

入札に参加するのに必要な資格について、当初伊勢崎管内に本社がある業者としていたものを、中部農民局管内に変更

したのか。

設計額は10億円以上だが、1億円以上については10業者以上を指名しなければならぬ。佐波、伊勢崎管内では10社に満たないため、玉村町が位置づけられている中部農

民局管内まで対象を広げ、該当が15社となった。そのうち、入札に応じた業者は7社である。

入札に参加した企業の、直前の決算に基づく経営事項審査は具体的にどのように行ったのか。過去2年間の経営状態はどうなのか。

今回は、建築一式工事の総合評点が950点以上とした。経営事項

審査の内容は、町のホームページなどで閲覧できる。

経営状況の950点とは、どのような基準なのか。

900点以上はAクラス、900点以下はBクラスである。群馬県内の最高点は1200点、大手ゼネコンは1600から1700点程度である。

反対討論

町田 おねひろ 建築工事議案については

次の3つの疑問点が解決しないため、反対討論する。
①企業から町に提出された入札金額に至る積算金額と値引き金額の詳細に答えていない。
②過去2年間の経営状態について、詳しい説明がない。
③電子入札という地域を限定しない手法をとったにもかかわらず、それを活用せず、地域を限定した条件付き入札を行った。
以上により、10億円を超える大きな事業を決定するには十分な審議が行われていないため、同意できない。

『東毛広域幹線道路並びにスマートインターチェンジ建設促進特別委員会』を設置

幹線道路やスマートインターチェンジの早期完成を実現するため、調査研究を行います。委員は、議長を除く14人。委員長に川端宏和議員、副委員長に浅見武志議員が選出されました。



玉村中学校